

平成27年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

| | |
|---------|----------------------|
| 会 派 名 | 進進クラブ |
| 出 席 者 | 田原 一孝 |
| 事 業 名 | 自治体病院の持続可能な医療・介護について |
| 事 業 区 分 | ①研究研修 ②調査 |

1 進進市での課題と研修・調査の目的

人口減少社会における自治体病院の持続可能な医療・介護について考える。

2 実施概要

| | | |
|-------------------------------|--|----------------|
| 実 施 日 時 | 視察先 | 東京都中央区八丁堀1-9-8 |
| 平成28年 2月15日(月) 10:00~16:00 | 担当部局 | 地方議員研究会 |
| 報 告 内 容 | 人口減少社会における自治体病院の持続可能な医療・介護を考える。 ・これから都市・地方に起きる深刻な医師・看護師・介護士等の不足 ・医師・看護師・介護士等の不足の原因は何か ・自治体における医療・介護の運命を握る「人材育成」の重要性 ・地域医療再生における地方議会議員の役割 | |

| | |
|-------------------|---|
| 感想（まとめ）・市政に活かせること | <p>1 これらの取り組みを韮崎市にどう活かせるか</p> <p>韮崎市の人口減少における自治体病院の持続可能な医療・介護について考えると、まず医師・看護師不足の中での病院経営が考えられます。</p> <p>この問題は本市だけでなく、すべての地方自治体の病院が抱える課題でもあります。この問題の要因は若い医師が地方の小さな病院より、環境が良く臨床研修が多く実施できる都市の病院や大きな病院を選ぶことも大きな要因に挙げられています。また、看護師不足におきましても、都市部の高齢化に伴い若い看護師が都市部に流出する傾向が見られます。この現象におきましても、多くの看護師が良い研修ができるとともに、報酬や勤務時間等待遇の良いところを選ぶのも当然かと思えます。</p> <p>このような状況の中、今後本市でこの課題についてどのように取り組むかがあります。</p> <p>医師確保におきましては、研修力の無い病院には若手医師は勤務しないという傾向がさらに増す可能性があります。このことは地方病院におきましては大変厳しい状況であります。しかし、国の新たな専門医制度では大学に専門医を取得したい若手医師が集まるように作られています。地方の小規模病院でも研修教育施設が認可されて、専門医の取得が可能なように制度設計を国として検討していただきたいと思えます。</p> <p>地方の自治体病院が生き残るには、医療従事者の研修機会を向上させるとともに、住民も地域医療に対しての理解を深め、不足する医療スタッフの立場に立って地域医療を考え行動することが大切です。こうした地域医療の課題を住民とともに考えることも議員の役割であると思えます。</p> |
|-------------------|---|

※視察先の写真等がある場合は添付のこと